

2014. 1

5 号

わかたけ

社会福祉法人 幸府福祉会
法人本部事務局
福岡県太宰府市大佐野 761-1
発行責任者：草本武俊
編 集：広報委員会



新年明けましておめでとうございます。



平成 25 年 11 月 9 日 法人職員研修会にて





新年あけましておめでどう

ございます。

皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年中は、当法人事業経営につきましてあたたかいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も私たち宰府福祉会は、障がいのある人の自己実現を支援し、地域において当

たり前の生活が出来ることを目指して、役員一丸となつて取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、ま

ず九月に、「障害福祉サービ

ス事業所やまもも」の開設十

五周年、十一月に「障害者支

援施設宰府園」が開設三十五

周年の節目の年を迎えるこ

とが出来ました。施設整備及

び事業推進につきましては

五月に「グループホームやま

もも」の新築開設、九月には

「相談事業面接室・事務室」

の増築、そして「すみれ園放課

後等デイサービスみつばち」

従たる事業所の開設など、

これまでの取り組みの積み重

ねが、また、長年の想いが、具

体的に形となった年でした。

さて、今年は、ソフト面に

力を入れて取り組んでいき

たいと考えています。まず、

人事と人材育成です。キャリア

パスによる人材育成を実施

するため、各種委員会を再編

し、その中の「組織・研修委

員会」を、人材育成の主旨の

業務内容に位置付けました。

今後は、この委員会と法人

本部が連携して、役職や職

務内容に応じた研修の実施

や業務経験の必要性等を考



慮した配置異動等を実施して

いくことにしています。今

で各施設、事業所ごとに職

員の研修・人材育成を実施し

ておりましたが、これからは、

法人事業全体の『人材』とし

て取り組みをしていきます。

次に組織強化と中長期

事業計画の策定です。

当法人が今後、どのような役

割を果たすためにどのような

事業をしていくのか。五年、

十年後に向けての中長期事

業計画の策定をしていきます

いと考えています。そのためにも、組織強化をしていかなければなりません。組織力の強化・向上は良好な人間関係を築くことから始まります。その際、必要になってくるのが「コミュニケーション」です。この基本要素をしっかりと位置づけ、組織強化を図り、地域の福祉の向上に寄与していきたいと考えています。これらの組織強化・人材育成の方法として、スーパービジョン体制を考えていかなければならないと思っています。さらに、法人組織全体における協力・連携体制の構築です。法人の役割を果たすことや職員の人材育成を図るなどについては、なにより、法

人組織内における協力・連携が必要で、このため、一体的に実施すべき事業については、法人本部を中心に役員や職種ごとに役割分担を明確にして、協力・連携して事業を実施していきたいと考えています。それから、情報の共有と財務管理の強化についてです。ITネットワーク環境を整備して、法人内の情報セキュリティを高めるとともに情報の共有化を図り、各施設・事業所の財務管理を法人本部で一元化し、常に経営状況を把握確認できるようにして、その対応を行い、安定した経営を行なうようにしたいと考えています。

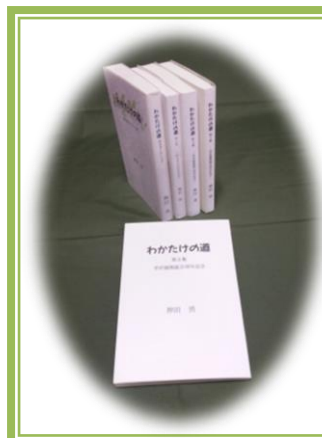
今、社会福祉法人は、地域の福祉や地域のセーフティネットの担い手として、その期待は益々高まっています。職員一人ひとりが使命感をもって鋭意努力し、組織活動を通して社会貢献をしていくことが求められています。このような、地域の皆様方の負託に応えられるよう、しっかりと地に足を付けて法人経営をしていきたいと思っています。

今年も役員一同、共に頑張つて参りますので、今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

～「わかたけの道」第5集を刊行いたしました～

宰府園の開園35周年を記念して『わかたけの道』第5集を刊行いたしました。この本は故神田前理事長が宰府園の機関紙「わかたけ」に書き続けたエッセイで、平成20年11月号から享年87歳で亡くなる半年前までの平成22年9月までの記載をまとめたものです。

経過の節目ごとにそのあゆみ・記念誌として刊行しておりましたが、今回は故神田前理事長の遺稿集的な意味合いを含むものになりました。



11月9日(土)、春日市社会福祉協議会2階会議室において、平成25年度第1回法人職員研修会を開催いたしました。

8月末の予定でしたが、台風の影響で延期になり、このたびの開催になりました。

はじめに草本理事長より「利用者サービスの質の向上について」の講義があり、続いて宰府園の中村副施設長か



講義する草本理事長



ら、「障がい児(者)福祉の歴史的変遷」の講義がありました。

午後からは、平成25年度の新規採用職員13名の紹介があり、今後の抱負を発表しました。次に、にじ(生活介護・自立訓練事業)担当の大内田主任から「リスクマネジメント」トクヒヤリハットとともに、「宰府園(就労移行支援事業)担当の古賀主任から「一人

ひとりの可能性に挑戦！」の実践報告があり、最後に「法人基本理念の具体的実践」の(1)、(2)のテーマでグループワークを行い、活発な意見交換が繰り広げられました。



新人職員の紹介

法人の基本理念

- (1) 私たちは、1人ひとりを大切に適切なサービスを提供します。(人権尊重とサービス提供)
- (2) 私たちは、互いの能力を生かし、支えあうことを大事にします。(自立と共生)
- (3) 私たちは、利用者第一の信念に徹し、業務を通じて地域福祉の推進に努めます。(利用者主体と地域福祉)
- (4) 私たちは、感謝と奉仕のこころを培い、努力向上を旨として誠実に業務を遂行します。(感謝と奉仕と努力向上)
- (5) 私たちは、公平な仕事を通じ、健全な経営を目指します。(健全経営)